

月刊

GPP



Vol.51

令和2年1月号

株式会社
グロースパートナーズ

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。
怒涛の12月が過ぎ、一服気分の正月を迎えている（はず・・・）。

今年は言わずもがなオリンピック・パラリンピックイヤー。
期間中の東京はいったいどうなることやら。きっとドタドタのバタバタなのだろう。
それより、気になるのは祭りが終わった後の来年の今頃の日本。
しかも、中間選挙の結果次第、というかどちらに転んでも混迷しそうな世界情勢を思うと、しっかり準備をしておかないと、と思えてならない。

先月号でお伝えした国土交通省でのプレゼンは万事上手に事を運ぶことが出来た。
京都大学・澤村先生
シンバホールディングス・安里会長
東昇商事・小泉代表
皆様のご支援の賜物であり、この場をお借りして改めて御礼を述べたい。ありがとうございました。



昨今、多発している水害と、多くの声が上がっているSDGs 関連については、皆様がとても強い関心をお持ちであること、そしてセルドロンは間違いなくいずれにもお役立ちできる製品であることを改めて認識した機会であり、更に情熱に油を注ぐきっかけにもなった。
まずは年明けの1月に残コン対策として国土交通省のNETIS登録されるが、それを起点に建設業界全体にセルドロンの名前を轟かせたい。環境に負荷を与えない製品として、農業用ため池の耐震補強工事で広く愛用されたい。
エチオピアではSATREPS・MNGDプロジェクトの礎を築く一役を担いたい。

セルドロン事業とは、まさにこれからの事業なのであると、改めて思っている。
2020年は快調に飛ばしていきたい。今年も宜しくお願い致します。

藤井 成厚

今年もセルドロン[®]の採用お待ちしております

セルドロンは汎用性の高い材料です。いままで様々な案件で採用いただいております。

案件-1 残コン系

①配管に残った生コン



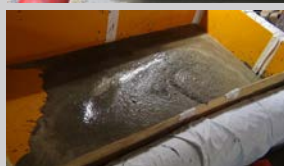
②階上のモルタル処理



③ポンプ圧送車のホッパー内

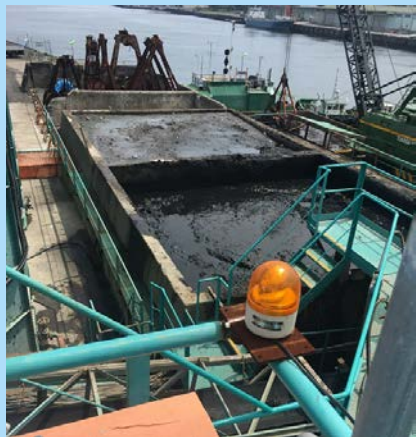


④地下トンネルのモルタル処理



案件-2 浚渫系

⑤海上浚渫



⑥池の改修



⑦河川の浚渫



案件-3 汚泥系

⑧下水処理場汚泥



案件-4 めかるみ対策

⑨自転車道整備



⑩公園整備



これからの時期は、積雪により納期が間に合わなくなる時期です。
除雪後のめかるんだ土壌には、セルドロンで改良し、工期が間に合うように活用ください。
お問い合わせが多い時期ですので、早めにご連絡いただけたら助かります。

今年も何卒よろしくお願いたします。